

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-1	AI 技術に基づく短期交通予測手法と総合的な交通需要マネジメントの研究開発	広島大学 准教授 力石 真	A
<p><研究の概要></p> <p>多様な交通サービス供給主体が協調する交通市場の実現に向けて、その要となる短期交通需要予測技術を開発し、開発した予測技術を下敷きとした総合的な交通需要マネジメント手法を提案する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>深層学習・転移学習手法を用いてリンク交通量、時間占有率、OD交通量等の短期予測手法の開発を進めるとともに、プローブパーソン－選好意識調査により行動変容の把握等に向けたデータ収集、分析を進めている。総合的な交通需要マネジメント手法の提案に向けて成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通需要マネジメントにとどまるのではなく、交通需給マネジメントにつなげることを常に念頭に置き、研究を進めていただきたい。 2. 平常時、災害時の仕分けに留意しつつ、結果をまとめていただきたい。なお、災害時のように、いわば前例のないケースの予測に AI を適用する場合の工夫については、より明確化するよう留意いただきたい。 3. 利用者への実効性のあるレコメンデーション方策など、社会実装時の課題にも留意いただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。